

●石神と矢幡地内北浦に注がれている雁通川の水の変色、そして大量の土砂の山、これからやって来る台風シーズン。水の流れにも悪条件となり、関係者の方に現場を見て、対応していただきたくお願いします。

今シーズン3月下旬～4月下旬、鯉をはじめとする魚貝類は全然見受けられない状況です。人と水、そして生物が生きていく環境づくりを期待します。

(60代 男性)



●私が今、一番気になっていいるのは北浦複合団地です。何とか良い企業か、皆が楽しめる遊園地のようなものが、バンッ!!とできてくれないかと、ロマンを持っています。せっかく銚田から東京間の高速バスも開通しているのだから、活性化も出てくると思います。楽しみにしておりますので、ぜひ、進めてほしいです。

(40代 女性)

●インターネットの光回線が、近く開通すると聞いているのですが、まだ麻生地区のみで、その他の地区が実現していません。一日も早い開通を望みます。

(50代 男性)

●行方市として生まれ変わって約4年。まだ合併して良かったという思いがありません。そう思えるようなまちづくりを目指して下さい。少数意見にも耳を傾け、それぞれの立場、視点に立って考え、行動して、嘘のない明るい行方市への実現を望みます。(50代 女性)

ちょっとひと言!!

市民の声

広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをひと言インタビューしました。

●行方市に住んでいて、少し気になる事があります。それは夜間の診療の問題です。

ある日深夜のこと、子ども(孫)が病気になる、近くの病院に診察を申し込んだのですが、当直の小児科医が不在とのことと断られました。結局、県南の総合病院なら診察してもらえとのことでした。車を約1時間走らせて病院に行きました。

近くで診てもらえる所があればと、やりきれない思いになりました。安心して暮らせるためにも、医療体制を充実させることは必要だと思えます。

(70代 男性)

●「財政難」という声ばかりが耳について、余計に気持ち沈んでしまいます。もっと明るい話題を提供していただいて、市民の活力が沸くまちづくりをお願いします。

(60代 男性)



●今は核家族が多いので、親子同士が交流できる場が必要だと思います。若いお母さんはそういう場に出るまでの一歩がなかなか踏み出せないでいると思います。子育ての悩みを一人で抱え込まず、誰かに相談出来るような環境づくりを初め、「みんな子育て」というようなことが大切だと思います。

(50代 女性)

議会では、議会や市に対する要望、意見、あるいは「議会だより」を読んだの感想などをお待ちしています。住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局まで。

みんなで傍聴しましょう!! 次の定例会は9月開会予定です。
主な内容は、決算審査などです。

編集後記



暑中お見舞い申し上げます。常任委員の改選と同様、広報委員も改選となり、6月22日の会議で正副委員長が互選されました。新たな気持ちで、市民の皆様により愛読される「議会だより」を目指し、6名の委員が英知を結集してお届けしていきたいと思えます。

さて、第2回定例会は、下水道に関する増設工事の随意契約の議案を常任委員会に付託するなど、より慎重なる審査を行いました。

また、市民の皆様の高議定数の問題についても、議会自ら審議をして、「議員定数等調査特別委員会」を設置することを全会一致で可決しました。結論を出すまでにある程度の時間を要するかと思えます。

私たち議員は、市民の皆様と同じ目線で物事を考えて、私たちの子どもや孫が安心して暮らせる行方市の環境づくりに、情熱をもって鋭意努力していきたいと考えています。

どうか今後も議会に対して深いご理解、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。
(宮内 正)

広報委員会(平成21年5月28日改選)

- 委員長 宮内 正
- 副委員長 高橋正信
- 委員 松兼幸蔵 鈴木義浩
- 委員 関野謙一 横田太一